

2月の新着本

2026年

2月14日（土）貸し出し開始

【一般図書】

変な地図	【読者希望】	雨穴	『変な家』『変な絵』に続く、雨穴「変な」シリーズの集大成！ 2015年、大学生の栗原は、意外な事実を知る。彼の祖母が、正体不明の古地図を握りしめて、不審死を遂げたという。その古地図には、7体の妖怪が描かれていた。これはいったい何なのか。なぜ、祖母は死に際にこんなものを持っていたのか。謎を探るため、栗原は旅に出る。
さよならジャバウォック	【読者希望】	伊坂 幸太郎	<デビュー25周年>渾身の書き下ろし長編ミステリー！ 結婚直後の妊娠と夫の転勤。その頃から夫は別人のように冷たくなった。彼からの暴言にも耐え、息子を育ててきたが、ついに暴力をふるわれた。そして今、自宅マンションの浴室で夫が倒れている。夫は死んだ、死んでいる。私が殺したのだ。
陽だまりの昭和		川本 三郎	時代の変遷とともに人々の生活習慣や価値観も移り変わり、昭和の風物詩が消え去りつつある今、「昭和」といえば、戦争や不況、思想弾圧など昭和史の暗い面に焦点をあてて語られがちである。だが、そんな時代にも市井の人々の暮らしには穏やかな時間が流れていた。本書では、「失われた昭和」の温もりを、映画や文学、流行歌や絵画などに「描かれた昭和」から多面的に浮かび上がらせる、著者ならではのエッセイ集
熟柿		佐藤 正午	激しい雨の降る夜、眠る夫を乗せた車で老婆を撥ねたかおりは轢き逃げの罪に問われ、服役中に息子を出産する。出所後、息子に会いたいあまり園児連れ去り事件を起こした彼女は息子との接見を禁じられ、追われるように西へ西へと各地を流れてゆく。
神都の証人		大門 剛明	ここにもある袴田事件、免田事件、財田川事件、足利事件の理不尽。生きるということは、かくも哀しく美しいものか。照らし出される司法の闇、冤罪の虚構、人間の絆。突然、父親を奪われた少女に救いは訪れるのか？ 事件の謎は戦前から令和まで引き継がれ、慟哭の結末は我々に生きる意味さえ問いかける、前代未聞かつ究極の「冤罪」ミステリー。
マスカレード・ライフ	【読者希望】	東野 圭吾	ホテル・コルテシア東京で開催されることになった、『日本推理小説新人賞』の選考会。当日、文学賞受賞の候補者として、ある死体遺棄事件の重要参考人が会場に現れる!?警視庁を辞め、コルテシア東京の保安課長となった新田浩介が、お客様の安全確保を第一に新たな活躍をみせる！
朝からブルマンの男	【読者希望】	水見 はがね	一杯二千円のコーヒーを連日注文する男の目的とは？ “推理合戦”を楽しむ桜戸大学ミステリ研究会の二人組が日常で出合った五つの謎。 第1回創元ミステリ短編賞受賞作を収録した青春ミステリ短編集。
女王様の電話番		渡辺 優	主人公の志川は、新卒で就職した不動産会社を辞め、現在、SMの女王様をデリバリーするお店の電話番をしている。友達には「そんな職業は辞めたら？」と眉をひそめられたが、女王様の中でも美織さんという最高に素敵な人に出会い、そこそこ幸せに暮らしていた。ある日、あこがれの美織さんと初めてごはんを食べに行く約束をして舞い上がるものの、当日にドタキャン。そのまま音信不通になってしまう。
介護未満の父に起きたこと	【寄贈図書】	ジェーン・スー	「老人以上、介護未満」の身に何が起きるのか？ その時期に必要なケアと心構えは？ 父の「介護前夜」に奔走した娘が綴る、七転八倒の5年間。
犯人に告ぐ4 暗幕の裂け目		雫井 脩介	警察の包囲網を潜り抜け、負傷したまま行方をくらませた天才詐欺師・淡野の行方を追う神奈川県警。特別捜査官の巻島は淡野逮捕への糸口をつかむべく、再度配信番組への出演を試みる。一方、淡野を殺す指示を出した【ワイズマン】は、横浜へのIR誘致に向けて魑魅魍魎の政界へ介入していく。
デモクラシーのいろは		森 絵都	1946年11月、日本民主化政策の成果を焦るGHQがはじめた “民主主義のレッスン”。いやいや教師役を引き受けた日系2世のリュウ、この実験を発案した仁藤子爵夫人、生徒として選ばれた個性豊かな4人の女性――それぞれの思惑が交錯する中、風変わりな授業が幕を開ける
フルハウス		堂場 瞬一	自らもラガーマンであった著者が、そのラグビー愛のすべてを込めて書き上げた究極のラグビー小説。堂場瞬一スポーツ小説の頂点とも言うべき傑作！

神様 ショッピング	角田 光代	神楽坂、ミャンマー、雑司ヶ谷、レパルスベイ、ガンジス川。どこへ行けば、私の願いは叶うのだろう。誰もが何かにすがりたい今の時代に、私のための神さまを求める8人を描く短篇集。
-------------	---------	---

特別配架（文庫・コミック等）

※ 一人一冊ではありません

臆病者の自転車生活 【寄贈図書】	安達 茉莉子	「どうせ無理」なんてもう言わない。 読めばじんわりと温もりが広がり、元気がどんどん湧いてくる、 Z I N Eで大人気の作家が贈る自転車エッセイ集。
BLUE GIANT MOMENTUM（4）（5） 【読者希望】	石塚 真一	超名門ジャズコンペへ向け大が動き始める！圧倒的熱量！ジャズコンペの火蓋切られる！
古本屋 タンポポのあけくれ 【寄贈図書】	片岡 千歳	詩を愛する夫婦がはじめた古本屋、「タンポポ書店」。 お店を営む日々を詩句を織り交ぜ綴った随筆集が、約20年ぶりに復刊です。
本なら売るほど(1)（2） 【寄贈図書】	児島 青	ひつつめ髪の気だるげな青年が営む古本屋「十月堂」。 店主の人柄と素敵な品ぞろえに惹かれて、今日もいろんなお客が訪れる。
道草ワンダーランド 【寄贈図書】	多田 多恵子	まちなかの植物に秘められた、驚きの生きる知恵！読めばいつもの散歩が変わる。

なお、4月新着本は（4月11日）から貸出いたします。